



## 技術講演会が開催されました



300人が熱心に耳を傾けた

群馬県建設技術協会（会長・上原幸彦県土整備部技監）と全国特定法面保護協会関東地方支部群馬県支部（幹事長・川原雅之高特代表取締役）の主催、群馬建設技術センターの後援により、上原会長は、甚大な被



設楽幹事長 長谷川支部長 上原会長

## 300人が参加し聴講 県建設技術協会と法面保護協会群馬県支部 15年度技術講演会開く

「本年度の技術講演会が10月30日、前橋市内の群馬県公社総合ビルで開催された。今回の講演のテーマは『災害への備え。当日は300人が聴講に訪れ、昨今における土砂災害の発生状況や浅間山などの噴火予測とこの対策、最新の法面技術のほか、福島県からも講師を招き、東日本大震災からの復興に関する講義を行った。講演は先立ち、主催者である上原会長と設楽幹事長がそれぞれ登壇。さらに、全国特定法面保護協会関東地方支部の長谷川支部長も祝意に駆け付けた。上原会長は、甚大な被災が生じた9月の関東・東北豪雨に「触れ、全国で毎年、これまでにないほどの大きな自然災害が発生しており、ハードとソフト両面での対策の必要性を訴える。県民の安全・安心を守るため、本日は4つのテーマで講演が行われ、それぞれ専門的な立場から幅広い内容となっているので、皆かかっている状況といった、今後の業務に役立つものがたくさんある」と呼びかけた。長谷川支部長は「強さ時もある。日々実施して

いことでも、深く考えながら見つめ直す意識と行動が大切。きょうの講演を聞き、良いものを柱『復興のまっくら』を業界に残していける協会にしていきたい」と意気込んだ。

講演へと移り、まず斜面防災対策技術協会のおける入札不調について滝澤俊康本部理事が「減少傾向にあり、本年8月までの発生率も前年と比較して概半分の状況にある」として、福島県では設計内容の見直し、発注口と地域要件の拡大などに取り組んでいることを紹介した。

休憩を挟み、前橋地方気象台の井出洋、火山防災官が浅間山の噴火予測と対策について講義。噴火の前兆現象や過去の噴火による整地状況などを解説した。

最後に、全国特定法面保護協会関東地方支部の黒柳啓技術委員長が法面技術の最新動向として、護協会は特定法面保護工数百mまで吹き付けが可能

最後に、全国特定法面保護協会関東地方支部の黒柳啓技術委員長が法面技術の最新動向として、護協会は特定法面保護工数百mまで吹き付けが可能



群馬建設新聞(2015年11月5日)に掲載

去る10月30日、群馬県建設技術協会と全国特定法面保護協会関東地方支部群馬県支部の共催で技術講演会が開催されました。

弊社も全国特定法面保護協会の会員であり、群馬県支部会の事務局として他の会員各社と協力し盛大に開催することができました。

また、今回も各社のカタログや技術資料を展示させていただき、ご来場の皆様に資料を持ち帰っていただくことができました。

ご来場くださった皆様および関係者の皆様ありがとうございました。



カタログ・技術資料 展示コーナー